

ヤライラ語テキスト

nuluyo fagou

1 代目 1 期

ヤライラ語とは?

ヤライラ語は架空世界トラッセで使われている人工言語である。
地球観察マシンと翻訳機が1家に1台ほど存在するため、地球言語からの借用があり、文字もアルファベットを使用することができる。

音と文字

ヤライラ語の文字は下の通りである。
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

文頭・固有名詞の頭には大文字を使う。
cはシャ行 qはキャ行 rは巻き舌ラ行 xはシャ行とする。

例) cin[シン、感嘆詞]くそっ、やっちゃったー

品詞と語順

品詞は名詞、動詞、形副詞、位相詞、接続詞、感嘆詞である。
複数の品詞を持つ単語は、複数詞と呼ぶ。

語順は VSO AN である。

例) Kenil nanmat sansu. (私はあなたが好きだ。)

代名詞

	主格	所有格
1 人称	nanmat	senmat
2 人称	sansu	kokugo
3 人称	soo	tigau
4 人称	meen	doo

代名詞 2

すべて・azo 一部・buledo ある・melt 何か・pengin どれ・mifa 無い・goo

誰・lada 何・danii 誰かしら・natioku

疑問文と否定文

疑問文・文末を上げる。書く時は?を付ける。

否定文・肯定文の動詞後に niba を置くことで作ることができる。

時制

過去・文頭に wiolen を置くだけ。 未来・文頭に wason を置くだけ。

通時・文頭に sesu を置くだけ。

現在形＝原形である。

アスペクト

これらは全て文頭に置く。

将然・kit 開始・kate 経過・ninji 完了・sanji 継続・dent

繋辞

繋辞は動詞 is で表す。is の後ろには形容詞・名詞が来る。

命令

主語が無い文章は命令形になる。

また、自分に命令する時は、主語を azasu にする。

単語後に置く助詞のようなもの

ヤライラ語では、名詞である。

paf : ～は、～が(省略可)

baf : ～を(省略可)

lat : ～に、～まで

uilan : ～から

sasumi : もし～ならば

gesumi : ～に、～で(場所)

niite : ～を使って

faate : ～を使わないで

goote : ～と一緒に

suute : ～と一緒にではなく

inde : ～と

anda : ～か

括弧

括弧は tim～tim で表現する。

関係詞と比較

なぜこの 2 つを一緒にしているかというと、ヤライラ語で一番難しい文法事項だからである。

関係詞・この後の語頭が母音なら lekusil、子音なら indo を使う。

比較・最上級は il-ale、～と同じくらいは as-in、標準比較は in-ni を使う。

～と同じくらいは in が後、標準比較は前なので間違えないようにすること。

代動詞

動詞の繰り返しを避けるには、le を使う。

受身と使役

どちらも動詞前に使う。

受身・unela を置く。

使役・uha を置く。

時間

年は yuli、月は moosu、週は yulatan、日は ninka、時間は time、分は femum、秒は minu。

暦は革命がおこった 1987 年 2 月 6 日をスタートとした物を用いる。それ以前は負の数で表される。

トラッセでは普通、1 日は 4 分割する。学校(義務教育＝小学校)では 2 分割する。

敬語

敬語に当たるものは存在しない。

色

基本色は 12 色である。大事な存在であるため、語頭は大文字にする。

Kileba(白)、Bonne(黒)、Faan(赤)、Bannet(青)、Glaanen(緑)、Aimel(黄)、Eat(茶)、Sukeaf(桃)、Saanun(灰)、Ingojo(紫)、Ologepo(オレンジ)、Daidain(だいだい)

地球では色はさまざまな概念に利用される。

しかし、トラッセでは色ではなく星がさまざまな概念に利用されている。

例) Is sansu moosu. (君は月だ。＝君は美しい。)

あたたかい(nii)・怒った(gangu)感情は milala(太陽のような熱い星)、感動(fuwaa)は銀河(gungi)、涼しさ(suu)は星の誕生(bibal)で表わされる。

虹は 7 色で、日本と同じ。

動名詞(～すること、～ということ)

動詞と名詞は同様の単語を使うので、英語の **ing** などは必要ない。